

明るく元気の出る町

平成10年1月1日発行・毎月1日 編集・発行／秋田県東由利町役場企画課

広報

ひがしゆり

HIGASHIYURI

東由利町

1998

NO.514



明けましておめでと〜うございます



町イメージ
キャラクター
「モウ太くん」

謹賀新年



町長 阿部幸悦 新春の御挨拶

新年明けましておめでとうございます。

昨年は「あきたこまちと由利牛の里」を標榜する我が町にとって悩み多き年でした。四年連続の豊作を心から喜べないことでありました。新食糧法になり市場原理で価格が決まるということになり、過去三年間の豊作の結果、米の在庫量が重荷になり心配な価格形成になってしまいました。しかもこれは今年の転作の行方にも影響して行きます。三十パーセントもの転作面積になりそうです。政府もいろいろ手立てを考えてとはいいませんが、明日につながる農業

振興を図って行くために、せつない模索をし続けなければなりません。

秋田県も一連の出来事で佐々木喜久治前知事が辞職をされ新しい体制ができたわけではありませんが、なかなか新しい出発にはなりません。一人秋田県だけではないのですが、早く問題の解決を図り、自他ともに「秋田花まるっ」を造りあげていかなければなりません。

国も世紀末を迎え、二十一世紀にも輝ける日本であり続けるためにと六大改革を打ち上げました。大変な課題ばかりですが避けて通れないものばかりです。

何の仕組みもそうですが、改革は並大抵のことではありません。明日の日本のために頑張る行かなければならないことです。その中心に内閣官房長官として村岡兼造先生がおられるのですが難儀されております。大変なときにその役割に就かれ、その一挙手一投足が政局に影響を与えることで

す。いい日本を造り上げるために今年も益々のご活躍を願わなければなりません。

町では昨年、活性化計画の第一次事業が地場産業センターの建設で終了したところであります。平成五年度からの、道の駅「東由利」を中心として、町民の福祉施設でもある「湯楽里」、お食事処「やしお」、そしてふれあいプラザ「ぷれっそ」がそろい、交流の拠点になり、町民の利便性の確保もはかれたことであります。また、団体営農道四路線、林道六路線、ふるさと農道一路線の竣工式もさせて頂いたことです。

暮れには平成元年からの県事業であります、仁賀保矢島館合線の館合バイパスが完成して開通式を行いました。いい道路になりました。

平成十年、寅年、今年も沢山の課題を持ち、その克服のために蓄積された沢山の財産を生かして頑張りあい、皆様にとっても東由利町にとっても良い年になりますように心から祈念して年頭のご挨拶と致します。

平成10年も皆で良い年に



私の家では三代つづけて寅年生まれです。

東由利町には3代続けて寅年生まれの家族が5組います。めでたい家族の中から2家族の皆さんに昨年をふりかえりつつ、新しい年へ向けての抱負をお聞きました。

町の寅年は434人

明治35年 男1人、女2人、計3人
大正3年 男13人、女12人、計25人
大正15年 男49人、女48人、計97人
昭和元年 男2人、女1人、計3人
昭和13年 男21人、女33人、計54人
昭和25年 男53人、女40人、計93人
昭和37年 男26人、女26人、計52人
昭和49年 男27人、女24人、計51人
昭和61年 男27人、女29人、計56人
合計 男219人、女215人、計434人
(平成9年11月26日調査)

表紙で協力していただいたみなさん
(選択はコンピュータによる無作為抽出)

明治35年: 梅津千代松さん(大琴)、高橋タケヨさん(小倉)

大正3年: 鈴木誠二郎さん(大琴)、小松フデミさん(宮ノ前)、嶽石友治郎さん(五海保)

大正15年: 横山徳五郎さん(黒淵)、小松キミさん(十二ノ前)、小松田忠之助さん(泡ノ淵)、阿部アヤ子さん(沼)

昭和元年: 阿部フミさん(十二ノ前)

昭和13年: 伊東勝見さん(蔵新田)、千葉康平さん(黒沢)、池部アツ子さん(地下ノ沢)、佐藤光子さん(寺田)

昭和25年: 小笠原ハマ子さん(土場沢)、小野集一さん(高屋)、小松初子さん(八日町)、畑山津美子さん(五海保)

昭和37年: 長沼信子さん(新町)、佐々木和子さん(大琴)、佐藤宮子さん(葎沢)、小野源行さん(上里)、阿部美幸さん(大琴)

昭和49年: 小野礼子さん(時雨山)、横山一也さん(下小屋)、小松奈央さん(寺田)

昭和61年: 遠藤信吾くん(宇戸坂)、莊野沙恵子さん(五海保)、遠藤勇太くん(横渡)、佐藤麻美さん(中通)、畠山和人くん(袖山)、鈴木翔子さん(沼)

操一さん…昨年は家を新築し気持ち良かった。今年は一家そろって健康でいられたらいい。去年はスポ少(野球)のレギュラーになってがんばりました。今年は勉強をがんばるぞ。

キヌさん…昨年は体の調子が戻ってきた年でした。今年も一年健康で過ごしたいと思っています。



小松操一さん(昭和25年生)
小松わたるくん(昭和61年生)
キヌさん(大正15年生)
(宮ノ前)

新一さん…昨年は忙しかったですが、無事一年を過ごすことができました。今年は虎のようにがんばりたいと思います。拓哉くん…大きなけがもなかったしよい一年でした。今年は中学校。たくましい中学生になるぞ。

ミサオさん…大きい病気もせず大変よい一年でした。今年も元気に一年を過ごしたいと思っています。



佐藤新一さん(昭和25年生)
佐藤たくや拓哉くん(昭和61年生)
ミサオさん(大正15年生)
(新 処)

今年は寅年

今年は寅年。虎は干支の三番目、食肉目ネコ科の動物です。ライオンが「アフリカの百獣の王」なら、虎は「アジアの百獣の王」です。ウスリー(ロシアと中国の国境地帯)、中国大陸、朝鮮半島、東南アジアなど、温帯から熱帯地方にかけて広く生息していますが、日本列島には野性の虎はいません。

だれでも知っている「虎の子」は、大切なもの、秘蔵のものというところ。「虎穴に入らずんば虎児を得ず」も、虎の子が貴重なものという意味から、危険を冒さなければ(虎の住んでいる穴に入らなければ)成功は得られないということです。

また虎は強いもの、恐ろしいもの、たとえにもよく使われます。「虎視眈眈」、「虎の威をかる狐」、「虎の尾を踏む」、「虎は飢えても死肉を食わず」、「虎は死して皮を残す」など、枚挙にいとまがありません。ただし、酔っ払いの大トラはいただけません。いずれにしても、昨年は明るい話題の少ない年でした。今年は虎のように、威勢よく頑張りたいものですね。



平成9年をふりかえり

いろいろなことがあった一年でした。

一月

四十八日「新春町政座談会」町民から活発な意見が。

六日「消防出初式（げんき館）」

十六日「平成八年産、葉たばこ収納作業（増田町）」販売総額 一億四千四百三十八万一千円、十アール当たり平均価格五十三万円。

二月

一日「第十三回大平雪まつり（大平スキー場）」三千人が雪に親しむ。

八日「子牛市場（広域由利畜産市場）」平成九年初セリに九十一頭が上場、一頭当たりの平均価格四十三万六千九百九十八円。

三月

六日「二十一日」第一回議会定例会「平成九年度一般会計当初予算は四十億六千九百三十八万三千円。

九日 黄桜温泉「湯楽里」入湯者二十万人達成。

二十四日「芸術文化奨励賞、スポーツ栄誉表彰式（有鄰館）」

四月

二十日「第十四回秋田県知事選挙」本町投票率七五・三一パーセント（郡内七位）

二十五日「自治会長会議（有鄰館）」

五月

十七日「十八日」第十三回黄桜まつり「二万一千人が楽しむ。

二十日 町消防団改革により消防団長が石渡力造氏から畠山勉氏へ。

六月

十日「十二日」第二回議会定例会

十日「大きなぶりまつり（健康増進センター）」五穀豊穡を祈願、六百人あまりが楽しむ。

十五日「大台分校閉校式」八十年もの歴史に終止符。

二十日「敬老会（健康増進センター）」千二十四人招待、四百八十八人が元気に出席。

二十二日「第四回東由利町スポーツ祭・トラック&フィールド」

二十八日「第四十二回町畜産共進会（畜産広場）」

自慢の牛など七十六頭が出陳。

七月

十八日「第三十三回由利畜産共進会」団体で総合優勝、肉用牛の部でも優勝を飾る。

十九日「地場産業センターふれあいプラザ“ふれっそ”オープン」駐車場および黄桜の里シンボル塔も同時に整備。

二十日「町消防訓練大会（げんき館駐車場）」第一分団総合優勝を飾る。

二十九日「第三回議会臨時会」

八月

二日「本荘市由利郡消防訓練大会（本荘市松濤公園グラウンド）」

十一日「第四回議会臨時会」

十五日「町成人式（有鄰館）」七十七人が大人の仲間入り

二十日「町戦没者追悼式（有鄰館）」三百三十二柱の御霊に祈り。

二十四日「東由利町スポーツ祭・ゲートボール」

二十五日「農集排終末処理場建設工事起工式」建築面積五百六十二・四平方メートル。

九月

六日「第八十六回秋田県畜産共進会（河辺町）」高橋定雄さん（館合新田）の肉用牛が農林水産大臣賞に輝く。

十日「二十五日」第五回議会定例会「八年度決算認定 歳入総額四十七億四千七百八十四万三千円、歳出総額四十六億一千八百六十四万四千円。

十二日「合同金婚式（有鄰館）」

四十五組のご夫婦が金婚。

十三日「チャリティー民謡の祭典（健康増進センター）」東由利民謡同好会が二十五周年。

十八日「第二十一回全県野焼きを楽しむ集い（八塩いこいの森）」百六十人が野焼きを楽しむ。

十月

十九日「東由利町スポーツ祭・グラウンドゴルフ&ペタンク」

二十一日「第六回議会臨時会」

二十四日 町功労者（元町議会議員）藤原虎之助氏が逝去。

二十六日「第五回東由利音楽祭（東由利中学校体育館）」八百五十人が参加。

十一月

一日「二日」第十一回産業文化祭（健康増進センター他）「六千人の人で賑わう。

五日「大台地区町政座談会」

七日「東由利町合同竣工式（健康増進センター）」地場産業センターなど四事業の竣工を祝う。

十一日「福祉と健康のつどい（有鄰館）」

十二月

十六日「十九日」第七回議会定例会

二十一日「高橋宏幸賞童話秋田県コンクール表彰式（有鄰館）」

三千百三十三点の応募が。

三十一日 第九回全国高等学校女子駅伝競争大会に畑山裕美さん（島）が会場。

二十二日「大平スキー場開き」

二十三日「黄桜温泉「湯楽里」入湯者三十万人達成」

二十五日「仁賀保矢島館合線・館合バイパス供用開始」

総合バイパスの供用を開始

12月 議会定例会

九年度の畑作の生産状況は好調

第七回議会定例会が十二月十六日に召集され、全議案を原案どおり可決しました。

十六日の本会議では、阿部幸悦町長の行政報告、六氏の一般質問の後、財産（分譲宅地造成用地）の取得についてなど七議案を原案通り可決。翌十七日から委員会審議を行い、最終日の十九日、平成九年度東由利町一般会計補正予算など六議案を原案通り可決、付託陳情に対する各委員会の報告後、閉会しました。



町長行政報告

出稼ぎ就労者

減少の傾向

出稼ぎ就労状況は平成九年十二月一日現在で百三十五名、前年比で三十一名の減です。
主な就労先は関東地方に八十八名、六十五歳以上の就労者数は十六名です。

「湯楽里」が

開業して丸二年

温泉保養施設「湯楽里」と産地形成促進施設「お食事処やしお」が平成七年十一月九日、開業二周年となりました。

一年間の温泉入浴者数十二万五千四百七十九人で一日平均三

百七十六人、やしおが七万八百六十一人で一日平均二百十二人ということでした。

温泉利用率が前年の約八十八パーセントと下がっていますが、当初予想しました月平均一万人の数値はクリアしたところで

保育園の開園時間を

一時間延長

町にある永慶保育園、みどり保育園について従来七時三十分から午後五時三十分でしたが、これを平成九年四月一日より午前七時から午後六時まで開園時間を一日一時間延長しております。働くお母さんの利便を図ったところであります。

冬季高齢世帯、ホームヘルプ対策を開始

冬季間の高齢者世帯のホームヘルパー活動について、町では社会福祉協議会に委託し十二月四日から活動を開始しています。

ホームヘルパー派遣申請者の中から二十六世帯を対象としています。

また、高齢世帯の方で窓、屋根の除雪などご難儀されている方は、社会福祉協議会へご相談いただきたいと思います。

合同海外研修に

六人の町民が参加

町民海外研修は、平成八年度から五年を目安に中国、東南アジア、オセアニア研修を計画し、平成八年度は中国研修を実施、九年度はインドネシア・シンガポールを東由利大内合同海外研修として、東由利町六人、大内町六人のあわせて十二人で実施したところであります。いろいろな機会に報告してもらいたいと思っています。

県の図書利用

十月から可能に

本町公民館にない図書を県立図書館から借り入れる等、有効利用を図るためのコンピュータを、十月九日に公民館に設置しました。気軽にご利用していただきたいと思います。

テレビ共同組合が

松柴地区に

松柴地区TV難視聴を解消するために、共同受信施設工事（ケーブル工事三、一三〇メートル、アンテナ施設一式）等を実施、十一月二十八日完成しました。古関三郎氏を組合長に十六戸が組合員であります。

（行政報告、次ページに続く）



優良PTAとして文部大臣表彰された八塩小PTA

好調だった

町の畑作生産状況

米の集荷状況は十二月十日現在、十四万四千六百八十八袋、集荷率九十六・八パーセント、うち一等米は九十・二パーセントで管内平均九十二・七パーセントに比較してかなり落ちます。十二月現在の畑作生産状況は、ミニトマトが五十三トン、さやえんどうは五・二トンで作付け面積増と単価アップにより好調です。

バラも作付け拡大により業績増です。野菜は全体で九パーセントの金額増となります。

八塩小が

優良PTAとして 文部大臣表彰

平成九年度優良PTA文部大臣表彰団体として八塩小学校が、十一月二十日に表彰されました。

わが町初めてのことであり、PTA会員の熱意と協力により優れたPTA活動を行い顕著な業績を挙げられたとして表彰ということであります。

館合バイパスが

いよいよ供用開始

仁賀保矢島館合線・館合バイパスは、平成元年より橋梁二橋、道路延長二、三五八・三メートル、車道幅員六・〇メートル、歩道二・五メートル、全幅十一・〇メートル、総事業費十四億六千八百万円で改良事業が行われました。このたび竣工することとなり、平成九年十二月二十五日正午をもって全面供用開始であります。これにより館合集落内の交通量の緩和が図られることとなります。

土地改良の補正

一月国会に期待

土地改良はウルグアイ・ラウンド補正が一月の通常国会で処理されるという情報があり、期待しているところであります。

中学校屋外運動場

三月に完成

中学校屋外運動場は、路盤工及び表層工の作業予定期間に秋の長雨となり、良好な作業条件が確保できなかったため、工期を三月三十一日まで延長しました。なお、中学校から要望の強い物置小屋の設置は、既定の予算の範囲内で可能でありますので、冬作業となりますが、建設



▲供用開始した館合バイパス

したいと考えております。

町福祉施設の利用、

年々増加傾向に

十二月一日現在、東光苑入所者五十人のうち町出身者は三十八人です。ショートステイ利用者は一日平均七・五人、昨年度実績一日平均四・三人とかなりの増となっています。

デイサービスセンター登録者数百六十三人、昨年度比十五人増。一日平均利用者は十七・八人で、昨年より一・一人の増です。また介護支援センターの対応件数は来所四百五十七件、電話二百七十二件、訪問七十七件と昨年同期と比較して大変な増になっています。

可決された主な議案

■財産の取得について

町分譲宅地の造成用地として東由利町宿字上ノ台三五番一、外七筆の財産を取得する。

■東由利町営住宅管理条例の全部を改正する条例

平成十年四月一日から施行

■一般会計補正予算

歳入歳出それぞれ二億九千二百八十四万八千円を追加し、総額を四十五億六千四百四十四万九千円とする。主なものは▼保育所児童措置費負担金千七百五十八万円▼公債費償還金利子及び割引料二億四千五百一十一万九千円など

■簡易水道事業特別会計補正予算

歳入歳出それぞれ六千四百五十八円を減額し、総額を二億二百五十三万七千円とする。

■特別養護老人ホーム東光苑特別会計補正予算

歳入歳出それぞれ二百九十一万九千円を追加し、総額を二億五千百五十六万六千円とする。

■農業集落排水事業特別会計補正予算

歳入歳出それぞれ九千九百四十八万二千円を減額し、総額を七億四千五百四十七万円とする。

一般質問

(質問内容、町長回答を一部抜粋して紹介)

■鈴木和夫議員■

①米価急落に伴う借入金利子に補給策を。②山間高冷地農地対策として基盤整備と平場農地整備の同時進行を。③堆肥処理施設事業着手前の調査、勉強の機会を。④家畜舎の臭気防止に植物活用を。⑤農集排事業で老方地内の痛んでいる道路の全面舗装を。

①JA資金に利子補給を検討している。②十分配慮していきたい。③よりよい施設をと考えている。JAが事業主体とも願っている。④畜産団地が理想だが、面白い提言。今後勉強したい。⑤自然沈下が想定されるので、現在は仮舗装という考え。工事の落ち着きをみてきちんと舗装したい。

■工藤実議員■

①岩館パイパスの進捗状況を。②北の城から野田間の改良工事は。③米価下落。稲作農家支援のため利子補

給を。④今後の農業振興をどう確立するか。⑤農産物加工場建設の考えは。⑥冬期間、スケート場活用できる屋根付町民プールを。⑦夏季、湯楽里の入浴時間延長を。⑧高齢者・身障者居室整備資金限度額の増額を。

①測量調査関係を終え、来年度に用地買収との情報。②二期工事という区分に陳情していきたい。③一番良い方法論を検討している。④消極的な施策しかだせない状況。稲作と並ぶ柱を立てていければ。⑤山振事業で考えている⑥検討中であるが、スケート場は難しい。⑦利用率の問題もあり、今後検討課題としたい。⑧金融機関との利子の差はほとんどない。このままの限度額で。また、返還時の難儀もある。

■畑山作喜議員■

①行財政改革で公共事業が縮小されている。心配はないか。②行財政改革で農集排事業などへの影響は。③町民プールの考えは。④今後の予算編成と施策展開の考えを。⑤町の中心に緑地広場、台山一体で森林緑地

整備を。⑥げんき館前に国旗掲揚塔、道の駅にモニュメントを。⑦外国人英語指導助手後任の見通しは。⑧県派遣スポーツ主事の後任の見通しは。⑨町内各種審議会などに女性の数が少ないのでは。⑩町独自のエンジェルプラン策定が必要ではないか。

①影響がないとはいえないが、国でも一律ではなく地域間格差を考慮してほしい。②計画通り進められると思う。③検討している。④東由利町総合発展計画にそって、シビアに議論しつつ整理していきたい。⑤考えていきたい。⑥周囲の整備を行いながら検討していきたい。⑦成果はあがっている。後任についても要望しているところ。(教育長)⑧今後にも派遣要望していきたい。⑨時間の積み重ね必要。もつといろいろな会に参加してほしいと考える。⑩町では十年度策定、十一年度から施行したい。支援を願いたい。

■小野健議員■

①新ガイドラインは危険なとりきめにならないか。②

国民に負担を強いる介護保険法案について考えを。③米価暴落と減反は農家経営を圧迫する。その対応は。④議員定数削減についての考えを。

①日本国は自衛権まで放棄していない。その範囲と考える。②福祉現場でも心配している。保険があつて介護なしということにならないよう準備を進めたい。③現実を見据えた上で議論していくべき。④現在の十六という定数が、本町の規模からして適正だと考える。

■佐藤萬一議員■

①町政座談会などで資料準備やビデオ活用を。②役場通信を主体とした情報紙を冊子のスタイルに。③介護保険法成立。行政と利用者の負担軽減のため国、県に要請活動。④保健センターの建設の見込みは。介護保険施行に合わせられないか。⑤近隣町と比較し財政状況はどうか。⑥当初予算編成の基本的な考えと方針を。

①テーマを持った座談会も必要と思っている。②緊急の場合もあり役場通信はこれ

まで通り週一回が適当と考える。③心配している。引き続き要請を続けていく。④施設については検討課題である。⑤郡内近隣市町村と比較して、地方債高倍率は四番目。今後も健全化に努力していく。⑥東由利町総合発展計画を基本に優先順位をつけて議論していく。

■小松伸之助議員■

①地方分権への道筋が見えてきた。町村合併についての考えを。②情報公開条例の制定についてどう考えるか。③児童生徒の減少に伴う、小学校の再編は。④生産調整、米価下落と危機的状況。町長の所信を。

①今の段階ではデメリットの方が大きい。プラスマイナスを考え大きな課題とした。②多くの町村が公開条例制定の方向。体制を整えていく時期と考える。③再編の思いは分かる。(町長)学校再編から十数年。将来の町づくりを見据えながら町民が納得できる方法を。(教育長)④認定農業者を中心とした個人を大切に育てながら考えていきたい。

二周年を迎え、新たな出発

黄桜温泉
「湯楽里」&
お食事処
「やしお」

たくさんの人々に 親しまれる施設に成長



「湯楽里」の入湯者、30万人を達成

国道一〇七号の交流拠点であり、町の活性化拠点と位置づけられている道の駅「東由利」が、昨年十一月七日で二周年を迎えました。

同時に黄桜温泉「湯楽里」、お食事処「やしお」でも三年目を迎えました。また十二月二十三日には「湯楽里」の入湯者が三十万人を達成しました。「やしお」でも新メニューなどを取り入れ訪れた人を喜ばれています。

「湯楽里」の入湯者をみてみると、平成九年十月三十一日現在で、二十八万五千百人の入湯者が訪れました。内訳をみると、一年目に入湯者が十五万九千六百二十一人、「湯楽里」「やしお」両施設として三十八万二千六百六十九人、二年目に入湯者が十二万五千四百七十九人、「湯楽里」「やしお」両施設として三十万九千四十六人が訪れたこととなります。

また、町在住の七十五歳以上のお年寄りが希望すると、福祉課から無料で配布される入湯券の利用者も一年目が三百十二人、二年目に五百三十九人、と確実に増えており、お年寄りにも親しまれていることがわかります。

「湯楽里」では、日頃の感謝を形にと開催した二周年祭も好評に終わり、三年目もなお一層の飛躍を、と誓いあったところです。

湯楽里二年間の歩み

平成七年

十一月四～五日 一般開放
十一月七日 健康増進センターでオーブンレセプション
十一月九日 オープン
十二月二十八日 入湯者三万人達成

平成八年

二月二十九日 入湯者五万人達成
四月十二日 入湯者七万人達成
六月十二日 入湯者十万人達成
十一月六～九日 湯楽里一周年記念祭
十二月二十二日 サンタフェスティバル

平成九年

一月一日 鏡開き・御屠蘇
一月二日 餅つき
三月九日 入湯者二十万人達成
五月三～四日 協同組合東由利ショッピングプラザ主催のチャリティーバザール
十一月十二～十五日 湯楽里二周年祭
十二月二十日～二十三日 クリスマス企画「花風呂」
十二月二十三日 入湯者三十万人達成

でっかいプレゼント

ありがとう！ 湯楽里二周年祭感想

先日（11月15日）は2周年記念にご招待いただきありがとうございました。私は都合で行けなかったのですが、両親とその友人が行きました。とても喜んでおりました。私も少しだけ親孝行ができたかなと思っています。

温泉もとても体によかったし、料理もありきたりじゃなくて、その土地のものだけを使っているのは素晴らしいと話していました。抽選でフランス鴨鍋セットもあたりおいしくいただきました。

秋田市 浅村多知子さん

先日はどうもありがとうございました。まるで夢のような時をすごしました。父も15日が誕生日でしたので、生まれて初めてでっかい素晴らしいプレゼントをもらったなと喜んでくれました。ご馳走もいっぱい、おいしく、お腹がいっぱいで残したりして悪かったなと話しながら帰ってきました。

お湯にも入り、ゆっくりした気持ちでストレスもどこへやらという気分です。ステキな時をありがとうございました。

横手市 村田ゆみ子さん

秋田市から自動車で約1時間半のドライブで、丁度午後3時に到着し、さっそく2階のりんどうの部屋へ案内されました。真新しい広々とした客間に大きな座卓が中央にあり、座椅子に座ってくつろぎ歓談。

夕食には珍しいご馳走。フランス鴨の刺身は生まれて初めて口にしましたが、なかなかの美味で、また由利牛のすきやきは最高の味でした。

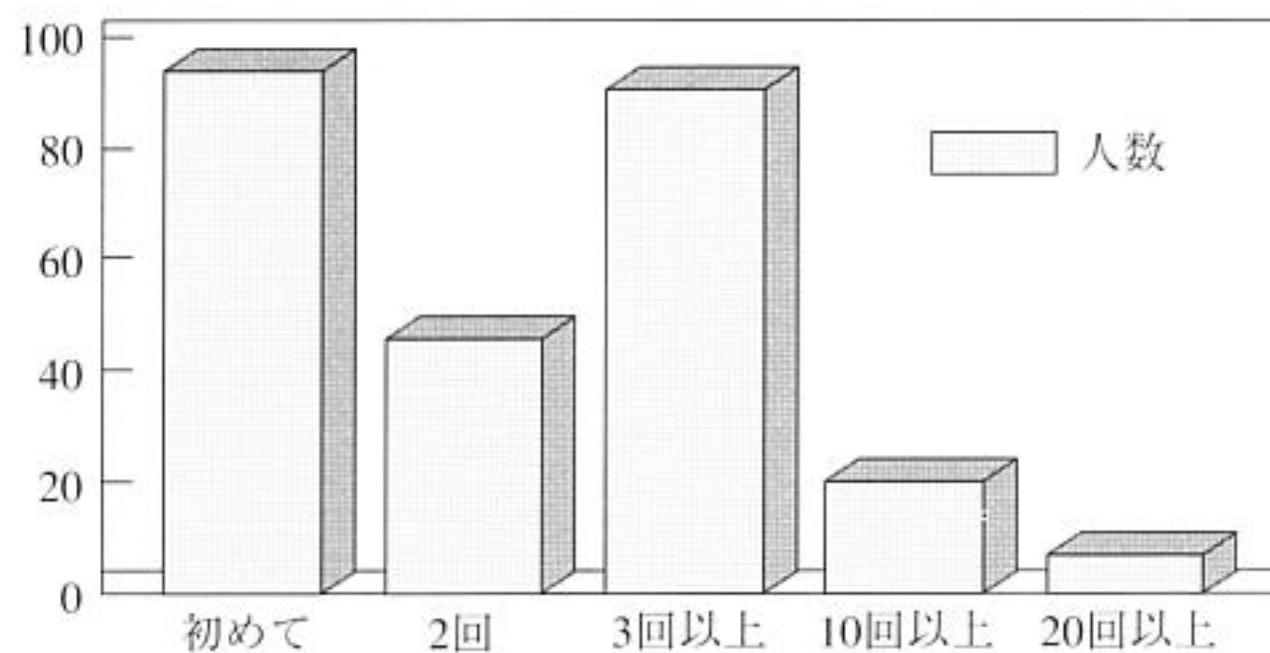
温泉には2回入浴しました。木の香りのする広々とした浴場の湯船は澄んだ綺麗な湯が程良い温度に保たれていて、ゆったりと気持ち良く沐浴をしてきました。妻たちもたいへん喜んで、帰途、車の中で話し合っていました。

秋田市 舘岡一男さん

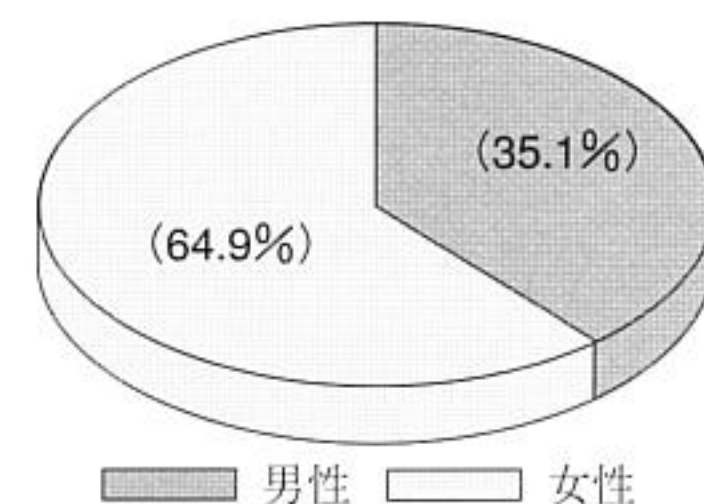


▲12月23日、「湯楽里」入湯者が30万人を達成した。30万人目のお客さんは佐々木史さん（羽後町）。

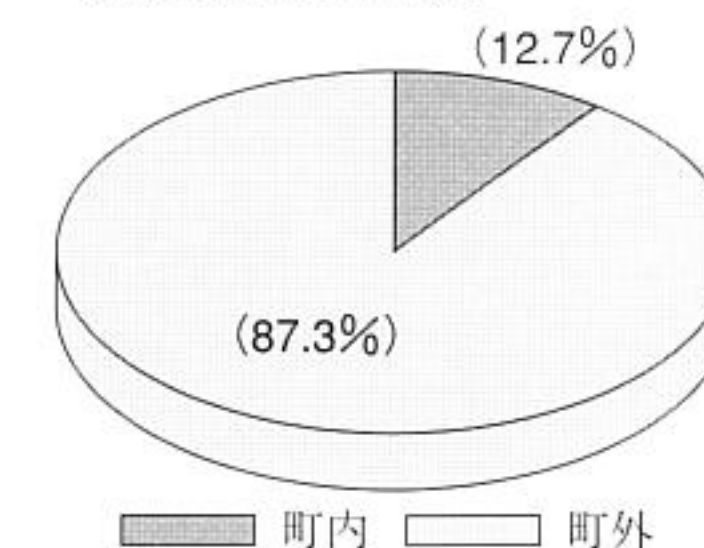
地場産品の料理の数々に感激



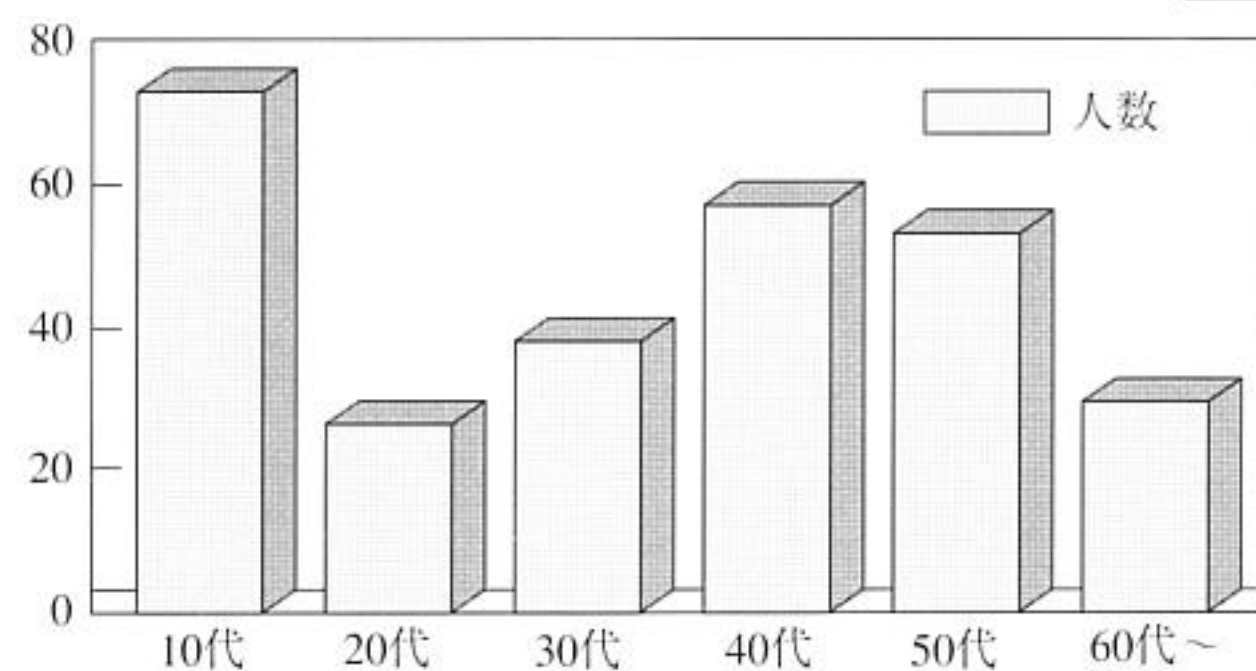
▲来館した回数の内訳



▲男女別の内訳



▲地域別の内訳



▲年代の内訳

「湯楽里」ではクリスマス企画として十二月二十日から二十三日まで女性風呂に限りて花風呂を企画しました。これは、千個の香り豊かな花を、女性の皆さんが入浴する湯船に置き、安らぎのひとつを味わってもらおうもの。入浴を楽しんだ方々は口々につい長湯しましたと話していました。

なお、年末年始の営業は、二十九日が休館、三十一日、一日の両日が午前十時から午後四時までの営業時間となっています。一月一日はロビーに振る舞い酒が用意されているとのことです。

「湯楽里」への問い合わせは ☎69-2611へ

年末・年始の「湯楽里」

町内二割、町外八割の利用内訳結果が

黄桜温泉「湯楽里」では、毎月訪れた方に対し、無記名でアンケートを実施しています。アンケート結果は、貴重な意見として集計、運営の資料として有効利用されています。平成九年、七月十月分のアンケートの一部を紹介します。（回収枚数二百六十九枚）

童話に託した子どもの夢



感想文・感想画で
3,133点もの
応募が寄せられた

十二月二十一日、第六回高橋宏幸賞童話秋田県コンクール（感想文、感想画）の表彰式が有鄰館で行われました。当日は雪模様の中、高橋宏幸先生を始め、入賞者の皆さんが元気に出席しました。式では入賞者一人一人に阿部幸悦町長と高橋先生から賞状と記念品が手渡されました。その後、高橋先生より、「小さい頃の夢をいつまでも大切に」と子供たちにあいさつがありました。

今回のコンクールには町内外の幼児、小学校児童より感想文、感想画など合計で三千百三十三点もの応募がありました。

平成七年度の応募総数が千八百二十二点、平成八年度が二千六百七十八点と、毎年確実に応募総数が増えています。

なお、レインボー賞以上の感想画は、十二月上旬から一月下旬にかけて、ふれあいプラザ“ぷれっそ”、ジョイフルシティ本荘店に展示されます。

★主な受賞者（敬称略）★

【感想文の部・小学生】

- 応募総数百七十九点
- 入賞者合計七十一人
- ◆メルヘン賞・一点
- 佐々木駿人（大琴）
- ◆ロマン賞・五一点

【感想画の部・幼児】

- 応募総数三百六十三点
- 入賞者合計百五十七点
- ◆メルヘン賞・一点
- 山田菜津美（みどり）
- ◆ロマン賞・五一点
- 猪股涼香（石沢） 小野俣太（みどり） 斎藤慎司（亀田） 田口沙織（亀田） 佐野和也（みどり）
- ◆入選・四十七点
- ◆レインボー賞・十一人
- ◆ファンタジー賞・七人

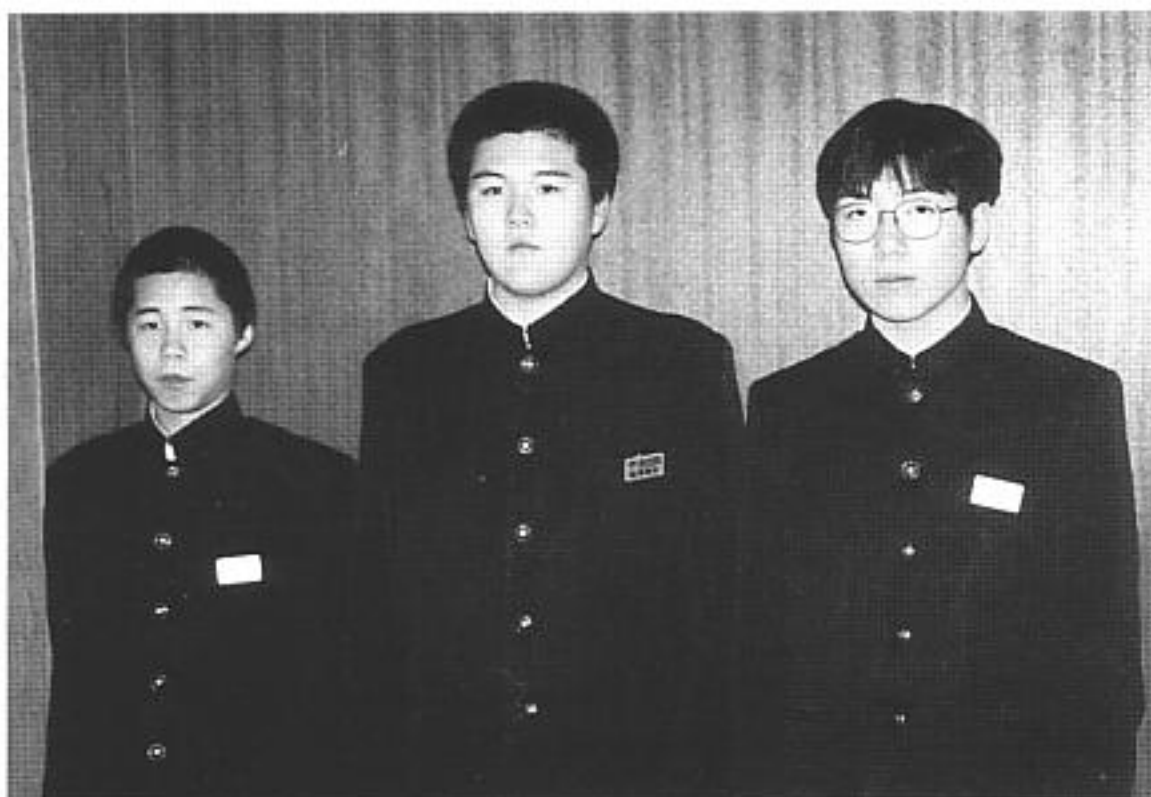
【感想文の部・小学生】

- 応募総数二千五百九十一人
- 入賞者合計千二百三十二人
- ◆メルヘン賞・一点
- 村上潔考（直根）
- ◆ロマン賞・五一点
- 佐々木駿（新山） 小沼満理奈（尾崎） 畠山富士子（尾崎） 遠藤翔（高瀬） 菊池結香（小友）
- ◆ファンタジー賞・七人
- 佐藤和貴（高瀬） 今野明日香（子吉） 高橋竜太（子吉） 伊藤考志（新山） 宝池哲（西目） 鈴木佑果（新山） 土田ゆき（矢島）
- ◆レインボー賞・百二十九人
- ◆入選・千九十九人



▲12月5日に行われた審査会

中学生が感じた税のこと



▲税について考えた三人

本荘市由利地区納税貯蓄組合連合会長賞

このほど行われた平成九年度「税についての作文」コンクールで、東由利中学校一年高橋拓也君、三年梅津真平君、三年小松春樹くんがそれぞれ本荘市由利地区納税貯蓄組合連合会長賞を受賞しました。

この作文コンクールは、中学生たちが日頃感じている率直な税への気持ちを作文に、と本荘市由利地区納税貯蓄組合連合会が毎年行っているもの。郡市内の中学校九校から六百四十点もの応募がありました。入選者の一人、小松春樹君の作文を紹介します。

本荘税務署長表彰

間接税申告納税制度施行三十五年を記念して、十一月十一日に本荘グランドホテルで行われた納税表彰式で、遠藤繁さん（家ノ下）が本荘税務署長表彰を受けました。

遠藤さんは本荘由利青色申告会連合会理事を務められており、この功労が認められたものです。

納税に貢献



▲喜びの遠藤繁さん

▼平成十年度農業用軽油の免税証申請受付及び交付について

平成十年度の農業用軽油引取免税証の申請受付及び交付を、次のとおり行います。

免税証の申請をされる農家の方は必要書類を持参のうえ、指定日に会場までお越しください。なお、当日ご都合の悪い方は、由利県税事務所まで直接お問い合わせ下さい。

◎申請受付

日時：二月二日（月）午前十時から午後二時三十分まで／会場：有鄰館（六九―二四一七）

◎免税証交付

日時：三月十八日（水）午前十時から午前十一時三十分まで／会場：有鄰館（六九―二四一七）

◎当日準備するもの

申請書類一式・印鑑・耕作証明書・機械の購入証明書

税金について考えること 三年 小松春樹

私は最近思うのですが、税金の利用のされ方が昔と変わっていないということです。

昔の税金は米などの農作物や、織物などの地域の特産物でしたが、その使用目的は工事などの費用にあてることももちろんあったでしょうが、ほとんどが武士や貴族の使うお金になっていたそうです。つまりは武士や貴族は民衆のお金で生活していたと同じです。しかも、ある時期は贅沢なことがばかりをしていたそうです。贅沢をすればお金がなくなり、年貢を上げます。こんなことをすれば民衆の不満はたまる一方です。自分が苦勞して貧しくしているのに、一方では樂して贅沢されただれもが怒ることでしょう。今の世の中はそれと同じような気がします。

今年から消費税が5パーセントにあがりました。2パーセント増えただけでなく、2パーセントも増えたのです。普通の買物ではたいした額ではありませんが、車や家ではかなり変わってしまいます。一千万の車を買ったら一千五十万、一億の家を建てたら一億五百万というようなくらい値段が上昇します。ローンで買ったらまた増えることでしょう。

そうした増税の陰に国民の納得いかない事件も起きています。国民のために使われるはずの税金を、私欲のために使う人間がいるということです。政治を行う側が不正をしていながら、国のお金がなくなったから税金を増やすといわれて、はい分かりました、と喜んで渡す人間なんているわけがないのです。税金を増やす前にいらない支出を出さないようにして欲しいです。

しかし、社会の不正を正すだけではどうしようもないこともあります。これからは高齢化がどんどん進みます。福祉の費用も当然増えます。今ある分ではどう考えても足りないのです。しかも益々足りなくなっていくのです。また、阪神淡路大震災などもありました。そんな災害のためにかなりの税金が使われることもあります。

私たちの学校や通る道、果ては教科書に至るまで、税金は私たちの身近なところで役立てられています。このようにして使われるのが本当の税金なのです。本来税金とは、払う側の利益になるもの、あるいは福祉、都市の発展、問題の解決に使われるべきもののはずです。

現在の税金の使い道がすべて悪いわけではありませんが、一部の使われ方を見ると昔と何ら変わっていないところがあることは事実です。改善されなければならない部分です。

では、私たちにできることはないでしょうか。私はこう考えます。私たちも関心を持つのです。税金が何のためにどう使われるかなどです。そしていつか、国民全体が常に税金について考え、納得して納められる時が来なければならないと思うのです。そうなったら、「現在は昔のようではない」とはっきり断言できることでしょう。

冬は大平スキー場へどじろぞ

無事故を祈願。大平スキー場オープン



▲安全を祈願しあった関係者

十二月二十二日、町営大平スキー場開きが現地で行われ、関係者五十余名が無事故を祈願しました。

当日は、神事が行われた後、阿部幸悦町長がスキー場の安全と、たくさんの方々が訪れることを期待する、とあいさつをしました。

今年は暖かい冬のようなのですが、昨シーズン以上の人を、とスキー場関係者は期待しています。



▲ナイター照明の移設工事が行われた大平スキー場

スキー場情報

スキー場では各種施設等の再整備で、なお一層の来場者数の増を図ろうとしています。

ゲレンデでは、スキーヤーの利便と安全のために昨年十一月にナイター照明の移設工事を行い、スキーゲレンデを広くしました。また、スキーを持参しなくても大丈夫なようにと、新規

広くなったナイターゲレンデ

「入浴回数券を始め、フランス鴨セッ

に十セットの貸スキーを購入しました。

ヒュッテでは昨年の窓際のカウンター設置に引き続き、食堂部のユニフォーム新調、食堂メニューの再検討などが行われ、お客さんが気持ち良く、休んでいたできるようにしました。

毎年好評のリフト券おたのしみ抽選は、今年も実施します。景品としては、黄桜温泉「湯楽

ト、地域特産品、リフト回数券、ヒュッテお食事券、観光テレホンカードなどを準備しています。

また、リフト券十枚持参者には粗品を進呈します。

多種多様な価値感であふれている今、スノースポーツ人口減少が続いていますが、中高年者が利用しやすい環境、ファミリー客の呼び込みなどの課題解決が、今後の大平に望まれます。

スキー場についてのお問い合わせは六九一一三二一八まで。

雪まつり情報

毎年、二月の月上旬に実施されている大平雪まつり。十四回目にあたる今年のまつりは二月七日（土）、八日（日）の両日を予定しています。昨年は約三千人が楽しんだ雪まつりですが、なお一層の参加を呼びかけたいです。

好評だった雪像コンテストをはじめ、家族連れも楽しめる企画を検討中です。楽しみながら雪に親しんでみませんか。

献血で支えられている命があります

「はたちの献血」キャンペーン 1月10日～2月9日

●冬は血液が不足する●
輸血用の血液は、すべて献血によってまかなわれています。

しかし、増加する血液需要に対して、この数年、献血者の数は減少する傾向をみせています。特に冬は、昼間の時間が短いため午後後の献血者が少なく、例年、血液が不足しがちです。

輸血用血液は、毎月一定の量が必要で、常に新しい血液を確保しなければなりません。一人でも多くの方に、献血にご協力いただくことが望まれています。

●若い世代の協力が不可欠●

献血者の約九〇パーセントが、十八～四十九歳の若年層。それに対して、輸血用血液の約八〇パーセントが、五十歳以上の方々に使われています。

社会の少子・高齢化は、今後ますます進みます。輸血を必要とする高齢者が増える一方で、献血を担う若い世代は減少し、輸血用の血液はますます不足すると予測されています。

そこで、二十歳代の若い方々、特に成人として社会に第一歩を踏み出すとして人々を対象に行っているのが、「はたちの献血」キャンペーンです。

毎年、成人の日を中心とした一カ月間、献血の重要性を呼びかけ、社会の一員として進んで献血に参加することを求めています。

あなたや家族、あなたのまちを 災害から守るのはだれですか？



防災とボランティアの日 1月17日 防災とボランティア週間 1月15日～21日

自分の身を守るのは自分自身……。3年前の阪神・淡路大震災で、わたしたちは災害に対する備えの大切さを改めて思い知らされました。それとともに学んだのは、人々の連帯と協力が人を救い、まちを救う機動力になるということ。阪神・淡路大震災では多くのボランティア、自主防災組織による活動が、被災地救援の大きな力になりました。

■防災対策の基本は

あなた自身の備えです■

大災害発生時は、同時に多数の場所で被害が出たり、交通や通信網が不通になったりするため、防災機関の活動は困難になることが予想されます。そのような状況下で、あなたや家族、あなたのまちを守るのは、あなたの自身の備えと地域の人たちとの協力による防災活動です。

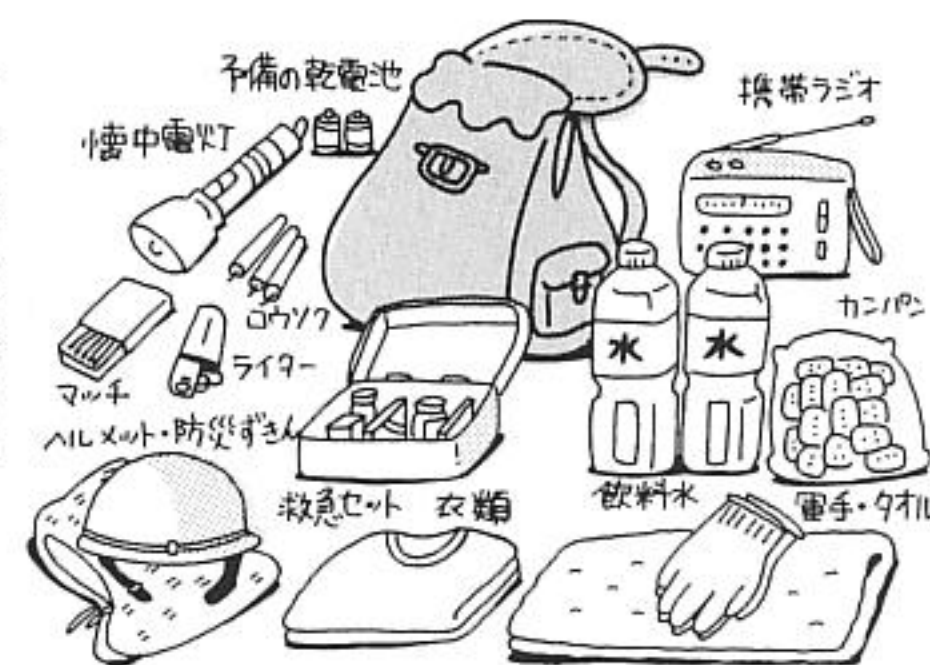
すべての防災対策は、各個人、各家庭がスタート地点です。ボランティアや地域の防災活動に参加しようにも、自分がけがをしてしまったら何もできません。防災対策の基本は、まず自分の身の安全を確保することです。

■自分たちのまちは

自分たちで守る■

行政も防災対策は行っていますが、行政ができることには限界があります。災害が発生したときに、「いま、ここで」助けの手を差し伸べられるのは、近隣の人どうし。情報連絡や消火活動、被災者の救出・救護、給食・給水など、災害を乗り越えるためには、地域でのお互いの協力が欠かせません。

災害に強い、安心して暮らせるまちづくりのためには、皆さん自身が「自分たちのまちは自分たちで守る」という意識をも



非常持ちだし袋も定期的に確認

つことが必要です。

全国のあちこちで、町内会や自治会などによる自主防災組織への取り組みが行われています。各自治会でも、ぜひ地域防災について話し合ってみてください。

■ふだんの活動が役に立つ

災害時のボランティア■

炊き出しや救援物資の配送、ごみの収集や夜間パトロール、聴覚障害者への手話通訳や外国人への通訳など、災害時のボランティア活動は多種多様です。

災害時におけるボランティア活動をするには、防災知識や現場で生かせる技術などにも必要です。いざ、というときに役に立つのは日ごろの積み重ねです。防災について知識を習得したり防災訓練やボランティア活動に積極的に参加したりするなど、普段の活動を大事にして下さい。

東由利

区分	頭数	平均体重	平均価格	Kg当単価
去勢	42	296kg	455,725	1,467
雌	26	267kg	317,383	1,130
合計	68	285kg	402,829	1,338

●最高金額 去勢 602,700 北国7-8 秋宮 益美
●最高金額 雌 451,500 北国7-8 福谷1 益美

十二月家畜市場

林業 だより

森は海の恋人

昨年の十月に岩手県大槌町において、天皇、皇后両陛下をお迎えして第十七回全国豊かな海づくり大会が、森は海の恋人の視点から海無し県も参加して開催されました。森は魚介類のふるさとといわれています。

森の腐葉土からしみ出る水は栄養があり、川から海へ流れて魚の餌となるプランクトンや海藻を育ててくれます。

また森は、緑のダムとして海へ安定的に水を流してくれます。

この全国大会で、海づくり少年団と緑の少年団から全国に次のようなメッセージが送られました。

「海は生命のゆりかごです。森はそんな海の友達です。緑のダムとなつてきれいな水をつくります。豊かな森が豊かな海をつくります。豊かな海と豊かな森を育てましょう。」

（町林業懇話会会長

佐藤恒悦氏）

1月26日は「文化財防火デー」

みんなで
守ろう
文化財



除雪の季節到来。安全誓う



▲役場車庫で行われた除雪安全祈願祭

安全祈願祭・連絡会議

十二月八日、役場車庫において除雪作業の無事故を祈願する除雪安全祈願祭が行われ、関係者など四十余名が出席しました。雪のない祈願祭でしたが、関係者は心から安全を誓っていました。その後、会場を有隣館に移し、除雪連絡会議が行われました。除雪延長は、昨年と同じく町直営が八七・二キロメートル、業者委託が五一・五キロメートルの合計一三八・七キロメートルです。

全国誌に本町、紹介される



▲取材を受ける(株)トーホク秋田工場の小松さん

「田舎暮らしの本」取材

地元で頑張っている人はいませんか、と東京の雑誌記者が取材に訪れました。この雑誌は宝島社が毎月発行している「田舎暮らしの本」。首都圏在住者を中心に、田舎暮らしに憧れる二十万人ほどの読者に親しまれている雑誌です。

十二月十日から十二日までの三日間にわたり行われた取材では、町長を始め十数名にインタビュー、各々が自分自身の率直な気持ちを話していました。この雑誌は二月頃発売される予定です。

子供に夢を、町に愛を。



▲子供たちが楽しんだサンタフェスティバル

サンタフェスティバル

「子供に夢を、町に愛とぬくもりを」と、十二月二十三日、道の駅で弁天島ほたるの会(高橋賢太郎会長)によるサンタフェスティバルが行われました。道の駅と付近に施された光のイルミネーションがクリスマスのムードを高める中、出店やサンタとの撮影会、民話紙芝居、腹話術、お待ちかねのプレゼントなどのたくさんの楽しい催しを、子供たちそれぞれが楽しんでいました。

遠く離れた異国に思いを



▲研修員全員がそろって写真撮影を行った

東由利・大内合同海外研修

東由利町、大内町合同海外研修が十一月二十三日から二十九日までの七日間の日程で行われました。インドネシア等を訪れた今回の研修には本町から六人、大内町から六人が参加、生のアジアの文化にふれました。

十二月五日には、大内町で研修報告会が行われ、両町の参加者が顔をそろえました。会では研修でのエピソードや、異国の印象などを披露、遠く離れた異国に思いをめぐらせていました。

結成十周年に向けて・・・



▲当日出席者の記念撮影（撮影：佐々木順児さん）

第九回在京宿小会

力強く挨拶。盛んな拍手をうけました。

アトラクションではテイチクレコードの民謡歌手岩壁龍風さん（男鹿出身）の唄と尺八、小川光月さん（能代出身）の三味線、畑村出身の小松弘さんの唄と尺八が披露。三人とも宿小会のために無料で唄を披露しました。

懇親会では、参加者の屋号や生年月日などを見ながら、お互いを確認。久しぶりの同級生や初めて会う者との話で盛り上がり、皆、故郷を懐かしく思いました。

また、創作舞踊、プロ伴奏による参加者の民謡、終盤近くにはフロアでダンスも飛び出しました。最後まで盛り上がった会。蛍の光のメロディが流れる中、参加者はそれぞれ会場を後にしました。

第九回在京宿小会が十一月二十三日、東京都北区滝野川会館で行われ、四十二歳から八十四歳までの幅広い年代の皆さん七十七人が出席しました。会には東京をはじめ、神奈川、静岡など一都七県から会員が集まりました。在京宿小会は平成元年十一月二十三日に結成された会です。

小笠原会長が来年の結成十周年に向けて抱負などを話した後、当日最高齢、沼出身の鈴木徳一郎さん（84）が、「私は現在も現役で働いています。皆さん、健康に気をつけまた来年会いましょう」と



▲三氏による民謡が披露された
（撮影：佐々木幸男さん）

写真で紹介する町の出来事

スキー場ヒュッテ開業



▲12月22日、スキー場オープン。
ヒュッテの食堂で働く皆さんも大いそがし。

東光苑でクリスマス会



▲12月17日、東光苑でクリスマス会。
町長がサンタに扮しプレゼントを手渡した。

医療キャラバン隊来町



▲12月4日、眼科医療キャラバン隊来町。
有鄰館で小、中学生の目の健康診断を行った。

八塩小、東光苑で奉仕作業



▲12月10日、八塩小児童が東光苑で奉仕作業。
風船バレー、窓ふき、おむつたたみ等を行った。

東由利文化クラブ

虫歯

なんてないも〜ん。

1歳半児健診

() 内は保護者



はたけやまかなちゃん
大吹川 (明弘さん)



こまつみずきちゃん
新町 (正義さん)



あべりゆうすけくん
横渡 (勝幸さん)



あそりりこちゃん
宇戸坂 (惣一さん)



こまつみさきちゃん
宮ノ前 (明さん)



さとうまさひろくん
下通 (博之さん)



えんどうかえでちゃん
家ノ下 (卓哉さん)



くしのゆうすけくん
下小路 (善健さん)

啓ふるさと様。

東京東由利会

石渡敏司さんより

新年明けましておめでと〜ございます。

東京東由利会では、例年通り、去る十一月九日バス旅行を行いました。いわき市国宝白水阿弥陀堂、石炭化石館見学、湯本温泉古滝屋での昼食会と入浴。その後小名浜港へと盛りだくさんの行事でした。準備、進行は当旅行委員会の活躍で、無事終えることが出来ました。

バスの中は各自持参のお酒や料理の持ち込みで大賑わい。お国言葉にのど自慢と時の経つのも忘れしました。東京が近くなり、ふと見上げた空は葉巻を銀紙に包んで、放りあげたような機影が夕日に輝いて美しい日本晴れでした。久し振りで故郷を想い、童心に返った一日を本当にありがとうございました。次回も一緒にしましょう。東由利町の皆々様の御健勝をお祈り申し上げます。



▲一日旅行での記念撮影

東由利の文芸

せせらぎ句会

首も手も欠けたる地藏霞打つ
夢にさめ眠れぬ夜の隙間風
夜更けまで灯る飯場や山眠る
雪中に泉あり芹浸しあり
杉美林日に黒々と山眠る
着ぶくれて大きボケット行商婦
田畑に人影もなし山眠る
親の床寝取る仔牛の今年葉
みな捨てて裸で生きる冬木かな

下通 小松 忠正
時雨山 吉川 葉子
五海保 嶽石 レイ
袖山 高橋 民治郎
湯出野 菊地 常作
蔵新田 小野 貞子
蔵新田 小笠原亮子
久保 高橋 典三
湯出野 佐藤 正義

大枯野渡るダム湖の重機音
吹雪く夜や閉める戸のなき地藏堂
久方に訪ねきし母頼被り
三輪車乗り捨てられて冬日落つ
あとかたもなき分教場山眠る
児と睦ぶ一と日よ父の冬休暇
顔入れて冬シャツ母の匂ひかな
越冬野菜圃ふ赤子を包むごと
工房の土間に夕日や大沙鉢
老の性あれもこれもと暮易し
虹消えて葉牡丹の渦締めけり
冬の夜の続きなき夢父生きて
登校班今朝も始まる雪合戦

上里 小野石路子
横渡 高橋ヒデ子
山崎 小松 良子
中通 小松順之助
蔵新田 小笠原トミ
横小路 宮野源二郎
小倉 遠藤トミ子
下小路 小松 メサ
秋田市 嵯峨 義之
船木 大庭喜右門
家ノ下 小松 正昭
高戸屋 小松 敏雄
蔵 阿部 澄子

アイドルをさがせ!



えんどうごうくん (2歳)
お父さん: 司さん
お母さん: ひろ子さん
【小倉】

「本が好きなようです。寝る時などかならず読むようにしていますが、忘れたりすると読んでとせがみます。また歌も好きなのです。テレビから音楽が流れてくると、合わせて踊ったりします」
「きらいなものは、ゆうれい。暗がりも苦手みたいです。」
「性格は、ちょっと自信家かな。強情張りなところもあるみたいです。夏におじさんがきて薪割りをしたんですが、自分もやらなくてはと思ったのか、薪運びを手伝っていました。日焼けして真っ赤になって、手にとげが刺さったのに泣きもせずやっていました」
「将来は名前に負けずたくましい男になってほしいです」

お話し…ひろ子さん

童話を

あなたに

この本は三冊の冊子からなっていてとても分かりやすいおり紙の楽しみ方がついています。四角い紙から動物や、ピアノ、カメラ、おばけまでできるんです。昔よくおった懐かしいものもていねいに紹介されています。

おり紙と言えど、音の出るもの、動くもの（ヒコキなんかちよつとした工夫でずつと高く飛んだ

り、手を離れた瞬間すぐ落ちたりするんです）など一枚の紙で色々な物に変えられるんです。子供にとってはまさに魔法でしょうね。

そういえば、子供におり紙を渡したらその内の二枚をなにやらおりだしたんです。

「これ何？」

「おにぎり！」
たしかに小さくまるめてもう一枚でくるんだところ、ごはんとノリのようにです。なんともリアルなおりが紙でした。子供の想像力で何も無い所から生まれてくる感情が

新生徒会長として

下郷分校 二年 遠藤和美くん



十二月一日に、教頭先生から生徒会長の任命証をいただいた。受け取った時、下郷分校の伝統の重みといったようなものを感じた。また、生徒の代表として、他の生徒会役員とともにがんばっているとも思った。

生徒会長になって、まだこれといった活動はないが、やらなければならぬことを改めて考えてみた。

まず第一にボラ

ンティア活動には積極的に取り組んでいきたい。私たちの住む町も高齢化は急速に進んでいる。地域の学校として、地域のために役立つ活動をしていきたい。

第二に、学校行事、特に運動会や文化祭には力を入れていきたい。文化祭には、学校外から来た皆さんの人が来てくださるので、去年に負けないくらい、本校の個性や特色を最大限に生かしたものを創りあげたい。

最後に、今年は創立五十周年という節目の年を迎える。先輩たちが築き上げてきた校風を継承、発展させ、活気あふれる生徒会活動にしたい。そのために、私は全校生徒の潤滑油になっていきたい。



ふるさとむかしむかし

朝もやに輝く梅の花

七

むかしむかし、蔵新田の久四郎さんの家に此之吉さんという働き者のお婿さんがいました。隣り部落の利平さんが此之吉さんの実家です。

ある年のこと、実家の父親でもある利平さんのお供をして、上方見物かねてお伊勢参りに旅立ちました。

途中、色々な思い出を残しながら、無事お詣りもおえ、家にもお土産をと、大鳥井の側に立ち並ぶお土産屋から、父親のすすめもあって、一振の道中差を格安で買求めました。掘り出し物とはいえ、どう見ても立派な代物とは言えないのでしたが、刀の鐔に細工されている梅の花が本物のように見え、気に入った此之吉さんでした。

この古ぼけた道中差を家の守り刀として、家に帰ってからは、暇あること

一度しかない人生だから 岡田可愛さん講演会

十一月一日、有鄰館において、文化講演会が行われました。当日の講師は女優でタレントの岡田可愛さん。岡田さんは「青春とはなんだ」、「サインはV」など数々の青春ドラマに出演しました。現在は実業家として、また女優としてテレビ番組にも出演、活躍中です。当日、「一度しかない人生だから」と題し講演、自らの生き方について話していました。



▲熱をおびた講演に入場者も引き込まれた

に手入れをするのでした。鐔に彫られている自慢の梅の花は一層光沢を放つのでした。

天保年間に入り、一夜で部落をなめつくした大火は此之吉の家も類焼し、火の廻りの早い火事は、逃げ出すだけで精いっぱいなのでした。

翌朝、黒く焼け焦げた柱など、くすぶる焼けあとの中、立ちすくむ気力すらない此之吉さんです。

そんなときでし

た。朝もやの中に、一筋の光り輝くものを見たのでした。なんと不思議なことに、守り刀でもある道中差が、裏庭の梅の木の花の枝にかり、鐔に彫られている梅の花が咲いているかのように美しく輝いていたのでした。

明るい話で勇気づけられた村人でしたが、その年は、大火



事、大凶作と夜逃げまで出る騒ぎ、背に腹はかえられずと思っていた此之吉さんは、この刀の噂を耳にした仙北の大旦那衆と、五斗入れ米俵数俵と取りかえました。

(文と絵・石渡力造氏)

1月▶データ東由利

〈12/1～/31〉

住民基本台帳人口 () は前月比

- 男.....2,596人 (△ 4)
- 女.....2,740人 (△ 6)
- 計.....5,336人 (△10)
- 世帯数.....1,396戸 (△ 3)

() は1月からの累計

- ・出生3人 (38) ・死亡4人 (54)
- ・転入2人 (80) ・転出11人 (103)

- 火災出動.....0件 (2)
- 救急出動.....12件 (105)
- 交通事故.....0件 (12)
 - ・死亡.....0人 (0)
 - ・傷者.....0人 (14)
- 飲酒運転.....0人 (0)
- 酒気帯び.....1人 (4)

1月の行事予定

- 5 御用始め
- 5 新春町政座談会 (袖山分館) 13:30～
- 6 消防出初め式
- 7 新春町政座談会 (玉米分館) 9:30～
- 7 新春町政座談会 (蔵分館) 13:30～
- 8 新春町政座談会 (住吉分館) 9:30～
- 8 新春町政座談会 (老方分館) 13:30～
- 9 新春町政座談会 (法内分館) 9:30～
- 9 新春町政座談会 (宿分館) 13:30～
- 11 民謡同好会新春民謡唄い初め (湯楽里) 14:00～
- 15 成人の日

ほっとひといき

高橋宏幸先生といえば、個人的には、小1の頃 (今から20数年前) に「チロヌップのきつね」の読書感想文を書いたこと、小3の時に先生との交流が魁新聞に取り上げられたことなどが思い出されます。あの頃の読書体験が今に至る乱読につながっています。

考えてみたら、本を読めと言われた記憶がありません。むしろ、読みすぎて禁止された気が。読書を強要されず、むしろ禁止されたので、逆に自主的に読書をしたくなったのかもしれないです。(さ)

東由利

郷土の野草

NO.155

「コシオガマ」
(ゴマノハグサ科)



日本全土の雑木林の山裾などの草原地帯に普通にみられる一年草で、この写真は茂沢で撮ったものです。淡いピンクの花冠の美しさ、可憐さが忘れられなくて、翌年も一度撮影しようと思っても足を運びましたが、見られませんでした。

全体に腺毛があつて茎などに触れると少し粘り気があります。花期は九月から十月にかけてで、がく片も羽状に切れこみがあり、葉も羽状に深く切れ込んでいます。この種類はアジアには五種類あるそうですが、日本には一種だけ自生しているといわれます。

文・写真 小松忠正氏

広報クイズ

問・今年は何年。東由利町の誕生年。その人数は？ 答えが

分かった方ははがきに答え、住所、氏名、年齢、広報の感想などを書いて、東由利町役場広報まで。締切は一月二十二日です。

前回の解答は①十四人でした。阿部喜之さん (十二ノ

前)、小野直人さん (宿)、佐々木雄太さん (十文字町)、小野みゆきさん (下通)、畑山イチ子さん (館合新) 以上の方が当選しました。



戸籍の窓口

お誕生おめでとう (11月21日～12月20日届出)

- 浦直也くん (父 雅弘、母 正子) 田代
- 小松京香さん (父 雅弘、母 正子) 五海保
- 石聖洗くん (父 嘉規、母 八日町)
- 菊地恵さん (父 由美子、母 新沢)
- 遠藤千愛美さん (父 哲也、母 西)
- 石綿莉沙さん (父 裕子、母 横渡)
- 鎌田将輝くん (父 育子、母 黒渕)
- 伊東和人さん (父 蔵)
- 小番真理子さん (父 本莊市)

こめい福をお祈りいたします

- 畑山慶次さん (65・サ) 子 夫 鏡新田
- 遠藤賢夫さん (70・ノブエ・夫) 宿
- 伊東勝一郎さん (75・ハルヨ・夫) 高村
- 長谷山長四郎さん (92・雄悦・父) 館合新田
- 佐藤ヨキさん (78・忠一・妻) 黒渕
- 小野昭雄さん (45・悦子・夫) 大琴
- 柏原房子さん (91・慶子・養母) 新町

町の宝もの

第69回

町内の獅子頭は現在三十四確認されており、紙の張り一をを除いて木製です。

写真は土場沢の保呂羽山神社に伝わる二体の一つで、正面からみた幅が二十五センチメートル、奥行き四十センチメートル、他の獅子頭よりひらべったく、昨年、県文化課から調査に派遣された斎藤氏によれば、非常に珍しいとのことでした。



獅子頭 (土場沢) 峠の木に掛け、午後、二体のうち、小さい獅子頭で舞い、写真の大きい獅子頭を持って各家をまわる行事が続いています。

写真の獅子頭がいつ頃のものかは不明ですが、獅子舞いは土場沢が特に盛んで「やれうだで土場神楽のかまどけし」と、はやされたそうです。

獅子は古来百獣の王とされ、五穀豊作の祈禱・悪魔払いとして獅子頭をかぶって舞う祭が続けられてきました。

文・畑山昭一氏

タバコは町内で買えません



酒井さんは窓口で。

堺さんは郵送で。

確定申告 3月16日 3月31日